



◀行政資料『旧牛深5ヶ町村合併資料』内「牛深市章懸賞募集入選作品」

今から70年前、昭和29年は天草での「昭和の大合併」が始まった年です。昭和29年の本渡市、牛深市、河浦町に始まり、五和町（昭和30年）、天草町（昭和31年）、

有明町（昭和33年）、倉岳町（昭和35年）、新和町（昭和36年）、栖本町（昭和37年）、御所浦町（昭和38年）まで新市町の誕生が続きます。有明・新和・倉岳は、合併時点では「村」でしたが、その数年後に「町」となりました。

昭和の大合併に関する行政資料『旧牛深5ヶ町村合併資料』には、「牛深市章懸賞募集入選作品」が掲載されています。当時、牛深市や本渡市は市章を公募しました。牛深市の市章に採用された入選1等作品には、デザイン説明に「“う”を四つ合わせ牛と読ませ、漁港商港都市として力強く伸び行く印象」と書かれていて、その後の昭和29年10月の市議会で、市旗の地色が紫に決められました。

昭和の大合併関係資料は、天草アーカイブズで（旧瀬戸小学校）どなたでも閲覧できます。また、秋には企画展も行う予定ですので、ぜひご来館ください。

天草市には、考古学や古生物学などの専門的知識を持つ学芸員がいます。その学芸員が、天草の歴史や自然などに関する「イチオシ」を紹介します。

学芸員のイチオシ

天草アーカイブズ
松野 恭子



令和6年第1回天草市議会定例会で議会の同意を得て、4月1日付けで、新たに野崎真司氏が副市長に就任しました。任期は令和10年3月31日まで。
金子邦彦前副市長は3月31日付けで退任しました。

副市長就任ありやう

副市長

野崎 真司

【経歴】
御所浦町出身。59歳。
熊本県職員として34年間勤務。平成28年6月から熊本地震で被災した南阿蘇村で政策審議監として災害対策にあたり、平成29年4月からの2年間は、同村の副村長として震災復興に尽力。
県土木部政策審議監や知事公室政策審議監、天草広域本部長を歴任。

令和6年4月1日から天草市副市長を務めさせていただく野崎です。経歴にあるように、御所浦で生まれ中学まで過ごし、高校から島外に出ました。平成2年に熊本県庁に入庁し、最初の赴任先が当時の熊本県天草事務所、消防や地域振興の担当として濃密な3年間を経験しました。そして昨年度、天草広域本部長として再度天草に赴任しましたが、15市町あつた天草地域も3市町となり、かつてと比べて県と市町の関係が希薄になったと感じていました。このたび、縁あって天草市で仕事をさせていただく機会に恵まれましたので、より住民に近い立場で、自分の持っている知識や経験を故郷のために活かせるよう、誠心誠意努める所存です。よろしくお願ひ申し上げます。

天草の旬いただきます!



春から旬を迎えるナスは90%以上が水分で、体を内側から冷やす作用があります。皮の色素は「ナスニン」というポリフェノールで抗酸化作用があり、生活習慣病の予防にも役立ちます。皮にハリとツヤがあり、傷や変色がなく、ヘタやガクがしっかりしたものがお勧めです。

ナスとベーコンのいためもの

材料 (2人分)

- ・ナス……………2/3本
- ・油(ナス用)……小さじ2
- ・ベーコン……………40g
- ・卵……………1/2個
- ・油(いり卵用)…小さじ1
- ・ピーマン……1個(20g)
- ・しょうゆ……………小さじ2/3

作り方

- ①卵を大きめのいり卵にして器に取り出す。
- ②ナスを小さめの乱切りにして炒める。
- ③ナスがしんなりしたら1cm幅に切ったベーコンを入れ、しょうゆを加えてさらに炒める。
- ④③に2cm角に切ったピーマンを加えてしんなりしたら、①を入れざっくり混ぜて器に盛りつける。

